

目 次

【人 文 科 学 編】

中学生の理科に対する好き嫌いの構成要因	栗 山 和 広	(1)
	(Kazuhiro KURIYAMA)	
	平 山 典 子	
	(Noriko HIRAYAMA)	
章士釗におけるジャスティス（再論章士釗と法治）（後半）	佐 藤 豊	(9)
	(Yutaka SATO)	
上代におけるイニシヘ／ムカシの使い分け（続）	田 口 尚 幸	(19)
―『常陸国風土記』にイニシヘ断絶／ムカシ連続説を 適用することの妥当性―	(Hisayuki TAGUCHI)	
教師と学習者の外国語学習のビリーフの比較	稲 葉 みどり	(27)
―類似と相違が示唆すること―	(Midori INABA)	
ルクセンブルク語クレルヴォー方言の特徴	田 村 建 一	(37)
―文章語としての使用例の分析―	(Kenichi TAMURA)	
平安和文会話文における準体句	土 岐 留美江	(51)
―「が、を、に及び係助詞」以外の助詞後接の場合―	(Rumie TOKI)	
クリオール女性の脱植民地理念をめぐる困難	堀 内 真由美	(61)
―フィリス・S・オーフリーと英領西インド植民地―	(Mayumi HORIUCHI)	
事物の像としての観念	吉 田 健太郎	(71)
―「第三省察」におけるデカルト的観念説―	(Kentaro YOSHIDA)	
ロックにおける道徳的義務の本性と根拠について	今 村 健一郎	(85)
	(Kenichiro IMAMURA)	
カントの理念論の歴史的背景	宮 村 悠 介	(101)
―近代哲学におけるアイデア論受容の一断面―	(Yusuke MIYAMURA)	
英米の俗信（5）	小 泉 直	(111)
	(Naoshi KOIZUMI)	
「V＋着」と〈V＋テイル〉の対照研究（六）	時 衛 国	(121)
	(Weiguo SHI)	

外国語活動で養成された「聞くこと」「読むこと」の能力について	高 橋 美由紀	(131)
ーグローバル化に対応した英語能力の測定ー	(Miyuki TAKAHASHI)	
	大 野 直 子	
	(Naoko OHNO)	
	柳 善 和	
	(Yoshikazu YANAGI)	

動詞の名詞化と機能動詞構造	納 谷 昌 宏	(145)
ー動作名詞 Diskussion の場合ー	(Masahiro NAYA)	

自己 PR 文の各構成要素の重要性について	伊 藤 俊 一	(159)
	(Toshikazu ITO)	

【社 会 科 学 編】

「沖縄県甲乙丙丁号達」(国立公文書館所蔵)とそこに収録された	青 嶋 敏	(165)
明治前期沖縄県令達について	(Satoshi AOSHIMA)	

Die Bedeutung beweglicher Objekte in Industrie- und Technikmuseen	マイヤー, オリバー・ルードビッヒ	(175)
zur Verdeutlichung der Funktion von Maschinen und Fahrzeugen	(Oliver MAYER)	